

ASAHI RUBBER INTERIM REPORT 2015

■朝日ラバー中間株主通信2015 【平成26年4月1日 - 平成26年9月30日】

新中期経営計画（V-1計画）達成に向け、 新たな価値創造に挑戦し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。中間株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2014年度上期（4～9月）における経営環境は、日本国内は回復基調でありましたが、消費税率引き上げ後の内需の低



代表取締役社長 伊藤 潤

迷や、欧州や中国を始めとする新興国の景気は停滞感がみられたものの、米国の景気は底堅く推移したことに加え、円安の影響もあり特に自動車関連は緩やかに改善しました。

このような経営環境下において、当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」

達成に向けて、平成26年4月から新中期経営計画（V-1計画）をスタートいたしました。

重点事業領域を自動車・医療・ライフサイエンスとし、各事業分野で、技術革新を基盤に新しい価値を創造し、当社コア技術を活かした新製品開発を図り、収益の柱となる主力製品の受注確保とさらなる業績の改善に向けて取り組んできた結果、全てのセグメントにおいて増収・増益となりました。

「V-1計画」の達成に向けた、2014年度下期以降の取り組みとして新規事業では、マイクロ流体デバイスを早期に創出する活動を本格化させるとともに、既存事業のシェア拡大と収益確保に努めてまいります。

こうした施策の実現に不可欠なのが、「人材」であり、将来の経営幹部や管理職層などの事業を牽引できる社員を育てる取り組みも強化してまいります。

今年度は、「AR-2020 VISION」に向けてスタートを切る重要な位置づけでもあります。引き続き、新たな価値創造に向けて挑戦し続けていくとともに、お客様に信頼される製品や価値をご提供するために、社員一同が高い志と強い一体感を持って、皆様からの信頼と期待にお応えしてまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

決算POINT

ASA COLOR LEDやスイッチ用ゴム製品等の自動車関連製品と機能製品のRFIDタグ用ゴム製品の受注が海外向けを中心に増加しました。

第45期 第2四半期実績

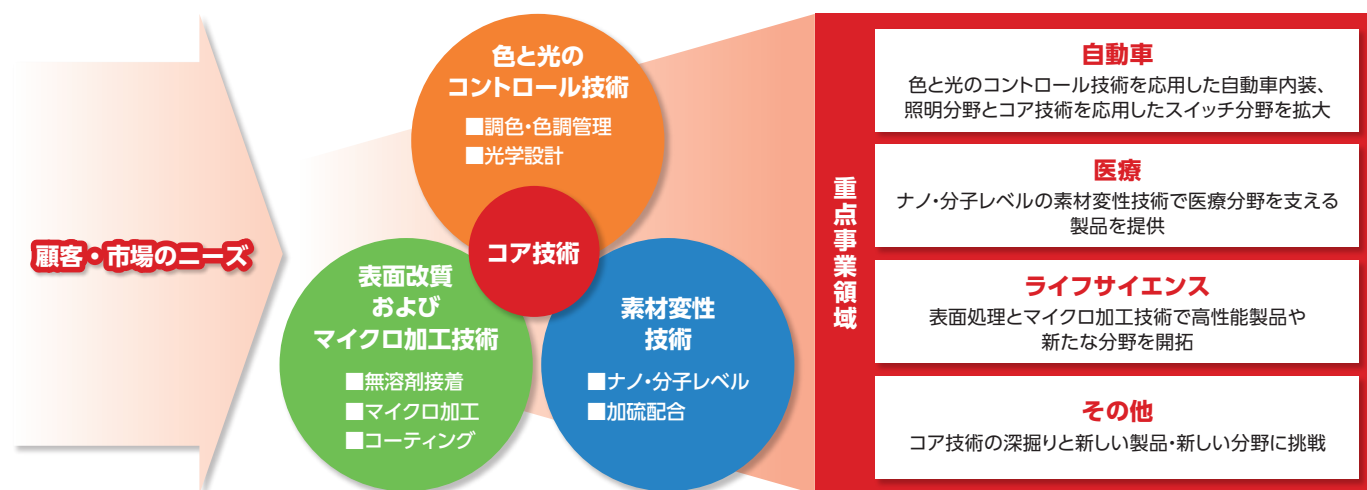
売上高	3,025 百万円	（前年同期比 9.8%増）	↑
営業利益	156 百万円	（前年同期比 31.6%増）	↑
経常利益	166 百万円	（前年同期比 37.9%増）	↑
四半期純利益	104 百万円	（前年同期比 35.0%増）	↑

第45期 通期（予想）

売上高	6,050 百万円	（前期比 6.6%増）	↑
営業利益	300 百万円	（前期比 4.8%増）	↑
経常利益	300 百万円	（前期比 1.3%増）	↑
当期純利益	180 百万円	（前期比 11.8%増）	↑

■事業概要

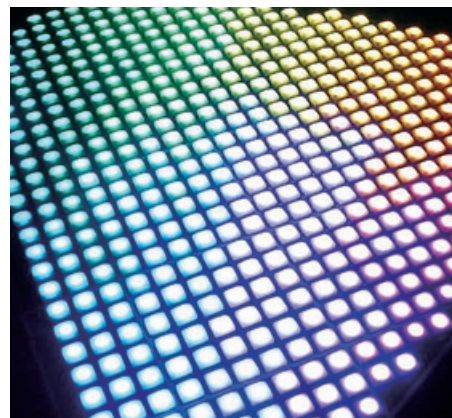
当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」達成に向けて、平成26年4月からスタートした三カ年の新中期経営計画を「V-1計画」と位置づけています。重点事業領域を自動車・医療・ライフサイエンスの3つとし、独自の技術を活かして、各事業分野で、技術革新を基盤に新しい価値を創造していきます。



工業用ゴム事業 【用途】自動車、情報通信、スポーツなど



〔第2四半期の概況〕工業用ゴム事業では、機能製品であるRFIDタグ用ゴム製品の海外向けの受注が引き続き好調に推移いたしました。また、ASA COLOR LEDおよびスイッチ用ゴム製品等の自動車関連製品の受注が海外向けを中心に増加しました。この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は24億2千3百万円（前年同期比10.6%増）となりました。またセグメント利益は2億6千3百万円（前年同期比19.6%増）となりました。



ASA COLOR LED

医療・衛生用ゴム事業 【用途】医療、介護



〔第2四半期の概況〕医療・衛生用ゴム事業では、プレフィルドシリンジ用ガスケットおよび採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が堅調に推移いたしました。この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は6億1百万円（前年同期比6.9%増）となりました。また、セグメント利益は3千5百万円（前年同期比145.1%増）となりました。



医療用ゴム製品

■マイクロ流体デバイス事業がスタート

今年10月、ライフサイエンス分野のマイクロ流体デバイスの初めての製品が、日本電気株式会社様向け製品「ヒトSTR-解析チップ」として量産を開始しました。今回は、マイクロ流体デバイスの開発・製造責任者の島村一樹新規事業開発部長にマイクロ流体デバイスについて伺いました。

Q. 朝日ラバーにとってマイクロ流体デバイスの製品化の難しさはどのような点でしたか？

A. 当社の分子接着技術は基礎的に確立していますが、これをデバイスとして製作するわけですが、DNAというデリケートな材料を扱うことから、同じ機能を持つものを大量に生産するという工程づくりが難しいですね。各工場、子会社の研究所から人材や資源を投入してもらってやっと納品することができました。また、一度使ってしまったら破棄する製品なので、実際にテストして品質を保証することができないのです。そのため、他の製品以上にプロセスによる品質管理をしていくために相当の時間と労力を使いましたね。お客様からご支援もいただきながらつくりあげていきました。もちろん、これで完了ではなく、さらに充実させていきます。

Q. これから他のデバイスも開発を進めていくわけですが、お客様からどのような評価をいただいていますか？

A. DNA分析をするための設備やノウハウを持っているということは大きいと評価いただいています。接着技術を持っているゴムメーカーが仮にあったとしても、バ

イオやDNAに関する設備やノウハウを持っているところとなるとそうはないでしょう。やはり実績は大きいです。開発製品は構想段階から試行錯誤していきますので、朝日ラバーに頼めば実機を頼りにいろいろと意見がもらえる、と思っていたいただければ大変ありがたいです。

Q. 今後、マイクロ流体デバイスをどのように成長させていきたいと考えていますか？

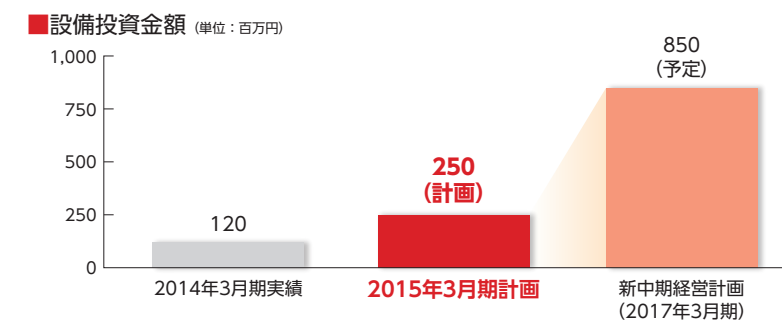
A. 当社の主力事業であるLEDや医療に並び、さらに上回れるようにしたいですね。量産化する工程にしてもさらに生産性を上げて、お客様にお求めやすい価格で提供できるように改善を続けていきたいと考えています。



新規事業開発部長 島村一樹

POINT | マイクロ流体デバイス事業 設備投資金額

マイクロ流体デバイスに関する設備投資は、新中期経営計画「V-1計画」で8.5億円を予定しています。分子接着技術を応用した製品であることから、接着工程の導入を2014年3月期から行ってきました。汎用性のある設備導入を進め、多様な製品展開を進められるよう、生産体制を構築していきます。



■ワークライフバランスを推進しています。

当社では、男女ともに柔軟な働き方と多様なライフスタイルを選択できる諸制度の充実を図り、特に育児、母性保護、介護に関する制度の見直しに力を入

れています。2011年11月には次世代認定マーク「くるみん」を取得し、従業員の子育て支援を積極的に推進しています。

●有給休暇取得状況

	2011年度	2012年度	2013年度
有給休暇 平均取得日数(日)	9.4	10.4	9.0
半日有休 取得人数(名)	223	235	165

●新規採用入社3年未満退職率

	2011年度	2012年度	2013年度
新規採用入社3年未満退職率	10.0%	0.0%	0.0%
入社人数	10	5	5
退職人数	1	0	0

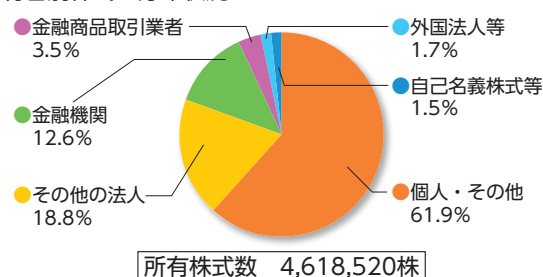
■株式の状況／会社概要 (平成26年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 11,500,000株
- 発行済株式の総数 4,618,520株
- 株 主 数 3,036名
- 大 株 主

株 主 名	持株数	持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	715,500株	15.7%
伊 藤 潤	226,000	5.0
伊 藤 巖	222,528	4.9
山 中 夕 典	212,500	4.7
株 式 会 社 武 蔵 野 銀 行	196,500	4.3

(注) 持株比率は自己株式(70,900株)を控除して計算しております。

●所有者別株式の分布状況



- 商 号 株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.)
<http://www.asahi-rubber.co.jp/>

- 所 在 地 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2

- 設 立 昭和51年6月(創業 昭和45年5月)

- 資 本 金 5億1,687万円

- 証券コード 5162

- 正 社 員 数 258名

- 主な業務内容 工業用ゴム製品の製造・販売

- 主な事業所

本 社 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
大阪営業所／福島工場／第二福島工場／白河工場

- 役 員 取締役会長 横 山 林 吉
(平成26年12月1日現在)

代表取締役社長 伊 藤 潤

常 務 取 締 役 中 沢 章 二

取 締 役 亀 本 順 志

取 締 役 渡 辺 陽一郎

常勤監査役(社外) 鈴 木 敦

監 査 役(社外) 塙 雅 夫

監 査 役(社外) 野 村 智 夫

●株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月に開催
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 (JASDAQ市場)
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asahi-rubber.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

もっと 朝日ラバーを知る

WEBで

積極的な情報開示に努めてまいりますので、
ぜひご覧ください。

<http://www.asahi-rubber.co.jp/>



Twitterで

会社の最新情報をお届けします。
ぜひフォローしてください。

<http://twitter.com/AsahiRubber>